

2021年4月28日

弘前大学学長 福田眞作殿

弘前大学職員組合執行委員長  
永瀬範明

## ハラスメント対策に関わる要望書

弘前大学のハラスメント対策をより効果的なものとするため、アンケート調査に基づき以下について要望致します。早急に取り組みを進めてくださいますようお願い致します。

### 1、HPのハラスメント相談に関するページを見つけやすくする、目につくところにポスターを掲示する、パンフレットを配置する等、更なる周知と情報発信を行ってください。

自らハラスメントを受けたことがあると回答した470人のうち、誰かに相談したかという設問に回答した123人の35%が「誰にも相談しなかった」としています。また、相談しなかったという理由には、相談窓口が「知らなかった」「どこにあるのか」という回答が目立っています。

### 2、職員に外部相談窓口の存在を周知してください。

弘前大学が2020年2月に設置した「外部相談窓口」は、「何かあったら利用しようと思う」と回答した人が272人いたにもかかわらず、外部相談窓口の存在を知っていたと回答した人は128人しかいませんでした。

### 3、指導的立場にある医療系職員への研修、サポート体制を充実させてください。

自らハラスメントを受けたことがあると回答した医療系職員は、106名に及びます。附属病院に勤務する職員にハラスメント相談窓口の再度の周知や、講習会の実施等対策を行ってください。また、看護師長が若手看護師の教育・指導に悩んでいるというコメントも散見しました。

### 4、慢性的な人手不足を解消してください。

人員削減や労働強化等が先にあり余裕が失われたところから、ハラスメントが発生している例があります。また、年度内に退職者が出た場合補充がない、現場が忙しすぎて繰り返し教える余裕がない等のコメントも散見しました。

### 5、人事異動については、勤続年数やキャリアだけでなくその時々の個人の事情に配慮してください。

家庭で子育てや介護を背負っている等、事情を抱えている職員に適切なサポートが行われず、多忙で緊張を強いられる部署に配属された結果、休職や退職に至っているというコメントも散見しました。

以上

※弘前大学職員組合では、2月18日から3月10日まで弘前大学構成員1494人にweb及び紙にて「職場環境改善アンケート」を配布し、472人より回答をいただきました。